

『一人の笑顔のために』

災害に備える

今月はじめから降り続いた雨が、熊本県に大きな災害をもたらしました。本校でも7日(火)は臨時休校、6日(月)と10日(金)は6時間目を取りやめて一斉下校、また、9日(木)は部活動停止の措置をとりました。6日(月)と10日(金)については、突然の授業カットによるお迎えのお願いでしたが、保護者の皆さまにはすぐに対応していただき、全ての生徒を無事に下校させることができました。

今回の経験を踏まえて、豪雨災害時の生徒の保護者への引き渡し方法等について、よりよい方法を検討しているところです。具体的な内容や方法等について決定しましたら、保護者の皆様に連絡とお願いを申し上げるつもりでおりますのでよろしくお願いいたします。

また、今回の大雨で写真①のように学校前のつつみ及び田んぼの土手が崩れ、雨天時には大量の水が正門前を流れる状況となりました。現在は、写真②のように土のうをおいて応急処置してありますが、電柱の根元の土が流されており、今後も危険が予想されますので、生徒送迎時には土のう付近には車を駐車されませんようお願いいたします。



人間やればできる！

今日、進路指導主事(3年主任)の前田先生から、3年生の進路希望調査結果をいただきました。進路通信でも3年生の学級通信でも「行ける高校ではなく、行きたい高校へ」と書かれていました。

そのためにはどうすればいいのか。何が大切なのか。

「授業が一番大切であり、学力を身につける最善の場所です。」

実は私、中学時代勉強は得意な方ではありませんでした。中1の初めての定期テストでは、110人中80番台でした。苦手な数学では、クラスで最低点をとったこともありました。そんな私でも、高校・大学と進学し、教師になることができました。人間やればできるのです。

私の教え子に中学校入学前に中国から来日したH君がいます。彼は来日時には日本語もあまり分からない状況だったようですが、ものすごい努力によって日本語の読み書きを獲得しました。そして3年後の受験では進路先に熊本高等専門学校を希望し、見事に合格することができました。3年時には、みんながH君に勉強を教えてもらっていたくらいです。その裏には、ものすごい努力があったことは間違いありません。

夏休みが近づいてきました。時間を無駄にすることなく、努力してみましょう。

「結果がでないとき、どういう自分でいられるか。」

決してあきらめない姿勢が、何かを生み出すきっかけをつくる。」(イチロー／プロ野球選手)

「チャレンジして失敗することを恐れるよりも、何もしないことを恐れる。」

(本田宗一郎／本田技研工業創業者)

※毎週木曜日に三加和公民館で「地域未来塾」(中学生を対象とした無料の学習支援塾)が開設されています。現在22名の生徒が通っていますが、定員が30名になるまで随時塾生を募集するそうです。希望者は担任の先生まで申し出てください。